

資料41

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表2000-503801

(P2000-503801A)

(43)公表日 平成12年3月28日 (2000.3.28)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	PI	マーコード ⁸ (参考)
H 01 J 61/30		H 01 J 61/30	T
F 21 V 7/00		F 21 V 7/14	Z
G 02 F 1/1335	530	G 02 F 1/1335	530
H 01 J 61/067		H 01 J 61/067	L

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 35 頁)

(21)出願番号	特願平10-544685
(86) (22)出願日	平成10年3月20日 (1998.3.20)
(85)翻訳文提出日	平成10年11月19日 (1998.11.19)
(86)国際出願番号	PCT/DE98/00827
(87)国際公開番号	WO98/43277
(87)国際公開日	平成10年10月1日 (1998.10.1)
(31)優先権主張番号	197 11 890.9
(32)優先日	平成9年3月21日 (1997.3.21)
(33)優先権主張国	ドイツ (DE)
(31)優先権主張番号	197 29 181.3
(32)優先日	平成9年7月8日 (1997.7.8)
(33)優先権主張国	ドイツ (DE)

(71)出願人	パテントートロイハントーゲゼルシャフト フュア エレクトリツシエ グリューラ ンベン ミット ベシユレンクテル ハフ ツング ドイツ連邦共和国 デ—81543 ミュン ヘン ヘルブルンナー シュトラーセ 1
(72)発明者	フォルコンマー、フランク ドイツ連邦共和国 デ—82131 ブーヒ エンドルフ ノイリーダーシュトラーセ 18
(74)代理人	弁理士 山口 延

最終頁に続く

(54)【発明の名称】背景照明用平形蛍光ランプ及びこの平形蛍光ランプを備えた液晶表示装置

(57)【要約】

平形蛍光ランプ (1) は、底板 (7) と、蓋板 (8) と、これらに半田 (10) により互いに気密に結合されている枠 (9) とを備えた放電容器 (2) を有している。導体路状の構造体が放電容器 (2) の内部において電極 (3~6) として、黄道範囲において貫通部として、また外部領域において外部電流リード (13, 14) として機能している。これにより大幅に異なるサイズの平形ランプが製造技術的に容易にかつ良好に自動化可能に製造される。さらに、殆ど任意の電極形状、特に、平形ランプの縁部に向かって厚度の低下の少ない均一の厚度に関して最適化された電極形状が実現される。少なくとも陽極 (5, 6) はそれぞれ耐電体層 (15) で覆われている。平形ランプ (1) は、好ましくはパルス電圧源で点灯され、例えばモニター或いはカーナビゲイションにおける情報画面における背景照明として点灯される。

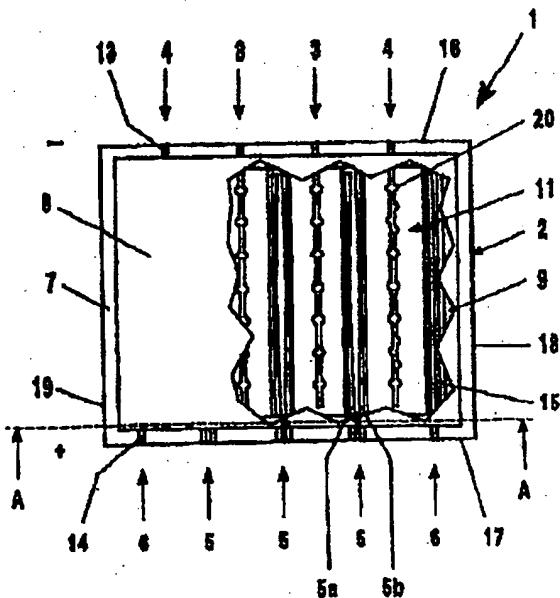


FIG. 3a